

令和8年5月11日

関係機関所属長 殿

熊本大学大学院生命科学研究部長

尾池 雄一（公印省略）

熊本大学大学院生命科学研究部 環境社会医学部門 看護学分野

リプロダクティブヘルス学講座担当 教授又は准教授候補者の公募について

標記のことについて、本学大学院生命科学研究部では看護学分野のリプロダクティブヘルス学講座担当 教授又は准教授の公募を行うことになりました。

ついては、ご多用中誠に恐縮に存じますが、貴機関において教授候補者の適任者がおられましたら、下記によりご推薦賜りますよう、お願い申し上げます。

なお、本講座担当教授又は准教授には、大学院生命科学研究部においては、リプロダクティブヘルス学に関連する先端的研究を展開していただき、医学部保健学科・大学院保健学教育部においては助産学・リプロダクティブヘルス学・母性看護学などに関する教育研究分野関連科目（教養教育科目を含む）の教育を担当していただきます。

記

1. 募集職名及び人員 教授又は准教授 1名
2. 所属 熊本大学大学院生命科学研究部 環境社会医学部門
看護学分野 リプロダクティブヘルス学講座
3. 担当予定科目：
学 部：母性看護疾病治療学、母性看護学実習、助産診断学Ⅰ、助産診断・技術学Ⅱ、助産学実習、
リサーチトレーニングⅡ 等
大学院：女性健康科学特論、女性健康科学演習、特別研究 等
4. 応募条件：次のいずれにも該当する者
 - (1) 博士の学位を有する者
 - (2) 医師又は助産師免許を有する者
 - (3) リプロダクティブヘルス学に関する研究業績を有する者
 - (4) 大学院保健学教育部及び医学部保健学科の兼任教授又は准教授として、大学院及び学部教育において優れた教育能力を有する者
 - (5) 大学院生命科学研究部教授又は准教授にふさわしい人格を有する者
5. 公募期限 令和8年6月15日（月） 必着
6. 着任時期 採用決定後のできるだけ早い時期

7. 労働条件等

職務内容	：(雇入れ直後) 教授又は准教授としての業務に従事する (変更の範囲) 熊本大学の定める業務
勤務形態	：同意に基づく専門業務型裁量労働制 勤務時間は、職員の裁量に委ねるものとし、1日の勤務時間は7時間45分とみなす
雇用期間	：教授：期間の定め あり(採用後5年、更新回数の上限1回(3年以内)) なお、雇用期間中の業績審査の結果に基づき、テニユア(定年まで在職することが保障される権利)を付与する場合がある。 准教授：期間の定め なし
試用期間	：6か月
勤務場所	：(雇入れ直後) 熊本大学本荘南地区 (変更の範囲) 熊本大学の定める範囲
時間外労働	：時間外、深夜、休日労働の有無 有
賃金等	：国立大学法人熊本大学2号年俸制適用職員給与規則に定めるところによる
社会保険	：文部科学省共済組合、雇用保険及び労災保険に加入
雇用者	：国立大学法人熊本大学

8. 提出書類

- | | |
|--|----|
| (1) 推薦書 | 1部 |
| (2) 履歴書(様式有) | 1部 |
| メールアドレス及び連絡先をご記入下さい。
また、男女を問わず、出産、育児、介護に専念(あるいは従事)した期間について考慮することを希望される場合は、付記してください。 | |
| (3) 業績目録(様式有) | 1部 |
| (4) 主要研究論文目録(総説を含む)(様式有) | 1部 |
| 原著論文を中心に、主要論文10編の別刷各2部を添付のこと。
(コピーでも可) | |
| (5) 業績の概要(様式有) | 1部 |
| (6) 教育実績の概要(様式有) | 1部 |
| (7) 研究・教育に対する抱負(様式有) | 1部 |
| (8) 申告書(様式有) | 1部 |
- ※ (2)～(8)の様式は、本研究部ホームページ(<http://www.medphas.kumamoto-u.ac.jp>)の【教員募集】の『応募様式』をご使用ください。
- ※ 上記提出書類をプリントしたものの1部(推薦書は推薦者の自署又は押印があること)及び(2)～(8)の電子データ(提出方法は、電子メール、USBメモリ、CD-ROMいずれでも可)を、「11. 書類提出先」へ提出願います。

9. 附記

選考に当たって、候補者各位にはセミナー及び面談をお願いすることがあります。その際の交通費等は自己負担となりますので、あらかじめご承知おき願います。

10. その他

- (1) 応募書類に含まれる個人情報、国立大学法人熊本大学の定めに従い、本人事選考にのみ使用し、他の目的には一切使用しません。また、応募書類は返却しません。
- (2) 熊本大学はダイバーシティを推進しています。
(詳細はホームページをご覧ください。<https://diversity.kumamoto-u.ac.jp/activities>)
・選考に当たっては、「男女雇用機会均等法」第8条(女性労働者に係る措置に関する特例)の規定に基づき、女性教員の在籍率を改善するための措置として、公正な評価に基づき職務に必要とされている能力が

同等と認められる場合は、女性を優先的に採用します。

(3) 本学採用後、業績の評価に際して、育児休業、介護休業及び産前産後休暇（以下「育児休業等」という。）を取得した期間（複数ある場合には合算）について、次を考慮します。

・最近（過去3年間）の業績を評価する際に、当該評価期間における育児休業等を取得した期間に相当する年数を評価期間に加えます。

(4) 熊本大学では、競争的研究費や民間資金による共同研究等の直接経費の一部を、研究代表者等の給与への上乗せ（年間上限＜教授の場合＞1,000万円、＜准教授の場合＞800万円）、自由裁量経費の配分、若手研究者を雇用できる資金へ転換できる制度が利用できます。

https://www.kumamoto-u.ac.jp/kenkyuu_sangakurenkei/kenkyuu/kenkyu/jwalct

11. 書類提出先 熊本大学生命科学系事務部医薬保健学系事務課 保健学系事務チーム 総務担当：阿部
〒862-0976 熊本市中央区九品寺4丁目24番1号 TEL 096-373-5452
E-mail: skh-somu@jimu.kumamoto-u.ac.jp
(リプロダクティブヘルス学講座 教授又は准教授 応募書類在中と朱書願います。)